

「全鍍連」 2025年 3月号 いきいき地域

全鍍連情報・国際副委員長 岩崎 秀雄 (高知精工メッキ(株) 代表取締役)

「あんぱん」



全鍍連では情報・国際委員会で活動しております。ちょうど2年前にNHKの朝ドラで我が高知県出身の「牧野富太郎」をモデルとした「らんまん」が放送され、いきいき「地」いきも「らんまん」という題材で寄稿し高知県を紹介しましたが、またまた本年4月より高知県出身で「アンパンマン」の作者「やなせたかし」の妻「小松暢」を主人公とした「あんぱん」が放送されます。朝ドラで漫画家を取り上げたものは15年前に「水木しげる」の「ゲゲゲの女房」が放送されましたが、これも漫画家の妻が主人公でした。漫画家の朝ドラの場合、主人公は漫画家本人ではなく、妻にスポットをあてる方が物語

になるようで、才能を発揮して成功するには家族の支えが大きいということかも知れません。「やなせたかし」は高知市の東側の香美市で生まれており、市内には「やなせたかし記念館アンパンマンミュージアム」があり全国からファンや子供連れの家族が訪れ観光地となっています。「やなせたかし」は25歳まで高知県で過ごした後東京に引っ越して漫画家を目指しましたが、すぐには日の目を見ることはありませんでした。生活を



維持していくために三越百貨店に勤めていました。三越で使われている包装紙に「猪熊弦一郎」画伯がデザインした「華ひらく」という有名な包装紙がありますが、このなかに「Mitsukoshi」というロゴ入っています。これは「やなせたかし」の手書き文字だそうです。「アンパンマン」と三越には意外な関係がありました。この包装紙は日本の百貨店の代名詞的存在として半世紀以上使われてきました。また「やなせたかし」は小学校時代には高知市のすぐ東隣の南国市で過ごしています。この町の中心地が「後免町」と言うユニークな名前なのですが、私もここで生活しています。交通の便が良い

い所で、市内には高知竜馬空港があり、高速道路の南国インターがあり、JR後免駅は特急停車駅でもあります。県外から来られるお客さんが当社に入る前に時間調整のために駅前で食事やお茶をしようと思いますが、駅の前にはレストランも喫茶店もありません。特急停車駅ではありますが、本当に閑散とした所です。後免町は田舎町で、高知市と10キロ程の距離ですが高知市内から路面電車が走っています。この電車の



終点が後免ですので電車の前面の行先表示はひらがなで「ごめん」となっています。なんとこの電車は何も悪いことはしていないのに、いつも謝りながら走っています。またこの路面電車は日本で現役最古の路面電車として今も運行されています。1904年から120年間廃線にもならず県民の足として走り続けているのです。私の会社のすぐ前を毎日走っており、その行先表示のユニークさも特に感じておりませんでした。初めて目にする人は「なにこれー」と大喜びします。高知を訪れる機会がありましたら路面電車に目をやって「アッこれかー」と思って頂ければ嬉しい限りです。